

環境会計

環境保全活動の効率を評価するために、「費用」と「効果」を把握し、課題別の明確化や成果の共有化を推進しています。

2009年度の集計結果

2009年度富士通グループ環境会計集計結果は、下表に示した通り、設備投資24.0億円(前年度比6.4億円増加)、費用300.6億円(同94.2億円増加)、経済効果538.6億円(同267.4億円増加)となりました。ただし、この値には2009年度集計から実施した集計基準の見直しの影響を含んでいます。

集計基準の見直しは、主に研究開発コスト・効果と管理活動効果について実施しています。

研究開発コスト・効果に関しては、新たに環境負荷の低減に貢献する環境ソリューションの一部を集計対象としました。これまでスーパーグリーン製品などに用いてきた手法を応用し、環境保全目的の開発が収益に貢献する額を独自に推定して効果を集計すると同時に、その開発に関わる費用も集計しました。

また、スーパーグリーン製品などに関して実施してきた研究開発効果の推定方法も見直しました。これは当社が環境会計を開始した1998年度から2008年度まで、わずかな手直しを実施したほかは基本的に同じ推定方法で集計してきましたが、環境に優しい製品に対するお客様の意識や社会情勢が大きく変化したことを受け、推定方法を見直す必要があると判断したためです。

以上の見直しの結果、研究開発コスト・効果のカテゴリにおいて、費用で約110億円、経済効果で約342億円の増加要因となっています。

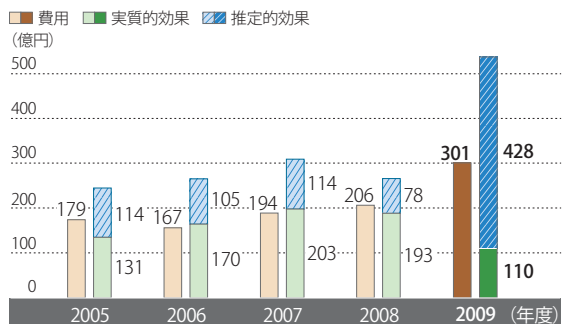
また、管理活動効果については、当社の環境負荷低減への取り組みを表現した環境広告について新たに独自の方法で経済効果を推定することとした結果、約11億円の経済効果増加要因となっています。

なお、参考までに集計基準の見直しを実施しなかった場合の2009年度の集計値を計算すると、設備投資24.0億円(前年度比6.4億円増加)、費用190.7(同15.7億円減少)、経済効果185.2億円(同86.0億円減少)となります。費用・経済効果とも減少していますが、この要因の一つとして、ハードディスク事業の譲渡に伴って2008年度まで集計対象だった(株)山形富士通、Fujitsu Computer Products Corporation of the Philippines、Fujitsu (Thailand) Co., Ltd.の3社が集計から外れた影響で、費用が約2億円、経済効果が約54億円のマイナスとなったことが挙げられます。一方、FDK(株)が連結対象に加わったことで、費用・効果ともに約1億円増加しています。

そのほかでは、土壌・地下水汚染対策に関する環境損傷対応費用・効果が、ともに前年度比約4億円減少しました。また、不要有価物の売却相場の下落に伴って、資源循環効果が前年度比で約19億円減少しています。

WEB 環境会計
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/management/accounting/>

費用と経済効果の推移



項目	主な範囲	設備投資(億円)	費用(億円)	経済効果(億円)	関連ページ
事業エリア内	公害防止コスト・効果	9.2(+6.3)	48.1(-1.6)	56.9(+5.6)	P69-72
	地球環境保全コスト・効果	11.2(+1.3)	29.1(+1.6)	12.9(-7.1)	P67-68, 74
	資源循環コスト・効果	0.1(-0.8)	31.7(-2.8)	92.2(-73.7)	P70
上・下流コスト・効果	製品の回収・リサイクル・再商品化など	0.0(-0.1)	8.2(-2.1)	3.9(-1.3)	P65-66, 73
管理活動コスト・効果	環境マネジメントシステムの整備・運用、社員への環境教育など	0.8(-0.6)	41.1(-5.2)	15.4(+9.5)	P51-53, 69, 72
研究開発コスト・効果	環境保全に寄与する製品・ソリューションなどの研究開発など	2.7(+0.6)	130.7(+107.8)	357.2(+338.2)	P57-64
社会活動コスト	環境保全を行う団体などに対する寄付、支援など	0.0(±0.0)	0.5(+0.3)	—	P54, 75
環境損傷対応コスト・効果	土壌・地下水汚染などに関わる修復など	0.0(-0.2)	11.1(-3.9)	0.0(-4.0)	P71-72
合計		24.0(+6.4)	300.6(+94.2)	538.6(+267.4)	—

- ()内は前年度比
- 四捨五入の関係で、内訳と合計は一致しないことがあります。
- 環境パフォーマンス指標(環境保全効果)は、「事業活動と環境負荷(マテリアルバランス)」(P55-56)をご覧ください。